

2022 年 4 月 20 日

情報公開文書

「生活習慣病やアレルギー疾患の新しい予防法確立に資する健康な日本人の腸管免疫と腸内細菌データベースの構築に関する疫学研究」へご協力を頂いた皆さまへ

表題の研究計画「生活習慣病やアレルギー疾患の新しい予防法確立に資する健康な日本人の腸管免疫と腸内細菌データベースの構築に関する疫学研究」につきまして取得した試料の外部共同研究機関である熊本大学への提供について周知させていただきます。また、熊本大学の共同研究機関であるシスメックス社および免疫生物研究所に、解析結果が共有されることについて周知させていただきます。その概要を記載いたしますので、ご質問・ご相談等がございます場合、下記のお問い合わせ先までお問い合わせください。ご自身が提供された試料を分析してほしくないと思われました場合にも、お問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた場合は、試料の外部提供をいたしません。

1. 研究課題名

生活習慣病やアレルギー疾患の新しい予防法確立に資する健康な日本人の腸管免疫と腸内細菌データベースの構築に関する疫学研究

2. 本研究課題の目的

食事・栄養状況や身体活動・運動などの生活習慣と腸内細菌叢に関する研究（本研究および既存の他の研究）から得られたヒト試料や情報を対象に、生活習慣病やアレルギー疾患の新しい予防法確立に資する健康な日本人の腸管免疫と腸内細菌データベースを構築し、そのデータを横断的に分析することにより、生活習慣、腸内細菌叢、腸管免疫、疾患発症との相互関係を明らかにすることを目的としております。

3. 研究対象者

2015 年 9 月から 2018 年 3 月までの期間に、「生活習慣病やアレルギー疾患の新しい予防法確立に資する健康な日本人の腸管免疫と腸内細菌データベースの構築に関する疫学研究」にご同意いただいた方から収集した試料を研究対象とします。

4. 外部共同機関の目的と方法

健康長寿阻害予測マーカーと生活習慣病や加齢関連疾患との関連を明らかにするために、「生活習慣病やアレルギー疾患の新しい予防法確立に資する健康な日本人の腸管免疫と腸内細菌データベースの構築に関する疫学研究」に参加頂いた方の血液試料を用いて、血中 ANGPTL2 濃度測定を実施します。なお、解析用のデータセットおよび解析経過は熊本大学分子遺伝学の鍵付きボックス内で厳重に管理された暗

号化 USB、あるいは、熊本大学病院職員用クラウド(PW つき office365)内に保存された状態で探索的に解析いたします。また、熊本大学で ANGPTL2 を測定する際には、シスメックス社および免疫生物研究所からの機材・資金の提供の協力を得て、また、肥銀ギャップ資金制度（競争的資金）で得られた研究費を用いますが、本研究は費用の出資者、機材等の提供者とは 無関係に公正に行われます。また、血中 ANGPTL2 測定結果、および性年齢等の解析結果についてシスメックス社および免疫生物研究所に共有されます。その際、個人を特定できる情報は外部共同研究機関に一切提供しません。

5. お問い合わせ先

医薬基盤・健康・栄養研究所 身体活動研究部

南里 妃名子

〒162-8636 東京都新宿区戸山 1-23-1

電話 03-3203-8061